

# 日頃から災害に備えましょう

## ⑩～災害発生時に情報を得る～

NPO法人 環境防災総合政策研究機構

理事 宇井 忠英

災害が発生した時、しそうな時、いち早く正確な情報を把握して、すばやく対応することが肝心です。消防署の半鐘に頼っていた時代とは様変わりした情報化社会で、手際よく災害情報を得る手段を解説します。

問 自治防災課自治防災係（市役所 2階 ☎23-3331 内線 464・465）

### 緊急速報「エリアメール」



エリアメールは、携帯電話網を使って防災情報を多くの方々に同時にいち早く知らせる仕組みです。

短い文面が、対象地域にある基地局のアンテナから携帯電話に自動的に発信されます。

エリアメールの着信音は『キュッキュ』と鳴り響く独特のものなので普通のメール着信との違いはすぐに判ります。

エリアメールは、電波の伝わる速さが地震の波が伝わる速さより速いことに着目し、平成19年に「緊急地震速報」として始まりました。

携帯電話が対象地域内にあることが受信できる前提条件になっているので、旅行中に自宅の地域を対象とした情報は受信できません。

逆に、旅行者が今居る場所の緊急情報を受信することはできません。

エリアメールが発信された時に通話中であつたり、電源が入っていない場合は受信できません。

平成22年12月2日の朝、筆者の携帯電話がエリアメールを受信した画面をお見せします。（写真1）

地震を感じる直前に受信しました。見ていただくとわかるように、短い文章で地震の発生が記されているだけでした。

ちょうど見ていたテレビの画面にも緊急地震速報が割り込み、それからわずかに遅れて地震を感じ始めました。

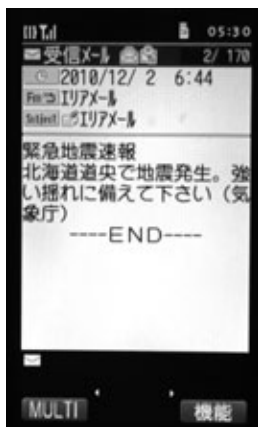
直下型地震では、エリアメールが間に合わない場所が出てきますが、今危惧されている50年間隔地震などの海溝型地震では、地震を感じる前に情報が得られます。

NTTドコモの携帯電話は、4年前くらいの機種から、特別な設定をしなくてもエリアメールが受信可能になっています。

古い機種では、自分でエリアメールを受信するように設定を変える必要があつたり、受信できない場合もあります。

今年4月1日から、伊達市を含む西胆振でもこのシステムが導入されました。

他の携帯電話会社も間もなく導入されると思います。



(写真1)

## 北海道防災情報



北海道防災情報とは、メールアドレスを登録してある携帯電話に防災情報が届く仕組みです。

受信するためには、次の作業をします。

### 登録方法

- 1 携帯電話で次のアドレスに空メールを送信  
newentry@mail.bousai-hokkaido.jp
- 2 返信メールが届く
- 3 情報を知りたい地域を登録する(複数の地域を登録することも可能)
- 4 気象警報・注意報、地震情報、津波情報、火山情報などから受信を希望する情報を選択

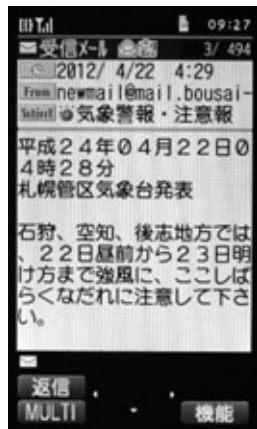
設定画面はかなり複雑ですが、一度設定すると後で携帯電話でもパソコンからでも受信希望内容を修正できます。

北海道災害情報を利用することでかかる経費は、携帯電話の通信料だけです。

着信音は普通のメールと変わりません。

受信したメールには、対象の自治体を特定して出された警報などの内容が記されています。(写真2)

速報性ではエリアメールに劣りますが、情報の内容はより具体的です。たとえ旅行中でも、登録してある地域にどのような情報が出たかが判る便利さもあります。



(写真2)

## 携帯ラジオと

### ワンセグテレビ



エリアメールと北海道防災情報はいち早く自動的に情報が入りますが、それだけでは実際に何が起きているのか、詳しいことは判りません。

災害発生と同時に停電して、普段見ているテレビが使えないことがあるので、停電しても情報を得る手段を確保しておくことが必要です。

携帯ラジオを準備しておくのが最も便利です。

FM/AM兼用の携帯ラジオには、名刺サイズで厚さ5mm、重さが50gの製品があり、かさばらずにいつでも持ち歩くことができます。

電源はボタン電池なので、予備の電池も必要でしょう。

もっと大きいものではランプと兼用のものや、携帯電話の充電機能や手回しの充電装置が付いた製品もあります。

携帯電話に付いているワンセグのテレビ機能も有効です。

画面が小さいので見にくいですが、音声だけよりは得られる情報量が多いのが利点です。

ワンセグは携帯電話とは別の通信システムなので、携帯電話がつかならなくてもワンセグが見られる地域やその逆もあります。

地デジ放送よりは広い範囲で受信できるようです。

日頃の行動範囲で、受信できるかどうか試しておくとういでしょう。

災害発生時には、身の安全を守ることが大事です。

ラジオやテレビの詳しい情報で災害の状況を知り、そして当面どう過ごすのか判断しましょう。



## 災害伝言板



災害発生時には、安否確認が必要です。

電話では災害用伝言ダイヤル「171」が活用できます。

しかし災害時、電話は非常につながりにくくなります。

携帯電話では、各会社に災害伝言版システムがあります。

自分の携帯電話番号を入力し、最大100文字までの情報を10件まで登録しておくことができます。

登録後3日以内なら、登録された情報は携帯電話やパソコンで読むことができ、利用料は無料です。

音声の電話よりもつながりやすいことが特徴です。

携帯電話会社ごとに災害伝言版は違いますが、別の会社の災害伝言版でも読めるようになっていきます。

平常時に各社の災害伝言版のURLを保存しておくとういでしょう。

(毎月1日や9月の防災週間などに体験利用ができます)

そして、家族や知り合いの間で、いざという時には災害伝言版に情報を登録することを確認しておきましょう。